

不便を幸せに

舞戸小学校

六年

神

愛 柁

わたしには、ひいおばあちゃんがいいます。

ひいおばあちゃんは、昨年ひいおじいちゃん

んが亡くなつてから一人で暮らしています。

そんな時、

原付免許証を自主返納するお話

していただきました。

確かにひいおばあちゃんは高れいただけで、

まだまだ元気だし、ひいおじいちゃんもが亡く

なつた今、買い物に行くのも不便だし、家に

こもりがちになつて元気がなくなつてしまつ

たら、と、わたしのおばあちゃんやお母さん

達もなやんでいました。

でもひいおばあちゃんは、

「何かあつてからではおそい。人様に迷わく

をにかけてしまふかもしれない。そうなつたら、

お墓まいりもできない。

と言つて、家族で話し合つた結果、自主返納

を決めたそうです。

それから半年たつた今、ひいおばあちゃん

も元気がなくなつてしまつた。

はとつても元気です。

それはきつと、前よりも家族に会える時間が増えたからだと思います。買い物や病院に行くのに不便だからと、家族が協力して会いに行き、心配してくれる近所の方達がおすそ分けを持って来て、話し相手になつてくれるそうです。

最近では、高れい者の一人暮らしが増え、高れい者ドライバーも年々増えているそうです。

そして、高れい者ドライバーによる事故もニュースでよく耳にします。

車やバイクが必要な地方暮らしでの自主返納は、とても勇気のある行動だと思います。でも、危険な事故を防げるだけでなく、家族との大切な時間を守ることができるとは思いません。

不便を幸せに変えていけるように、わたしもできることから協力していきたいと思います。